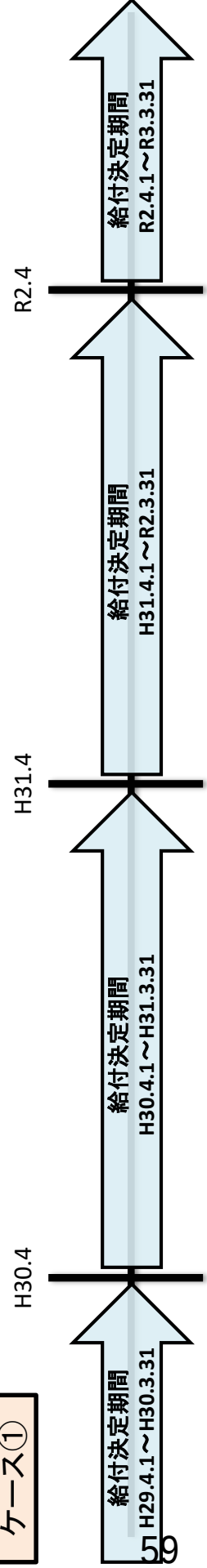


障害児通所給付決定の実態等に係る調査（問2の対象者のイメージ）

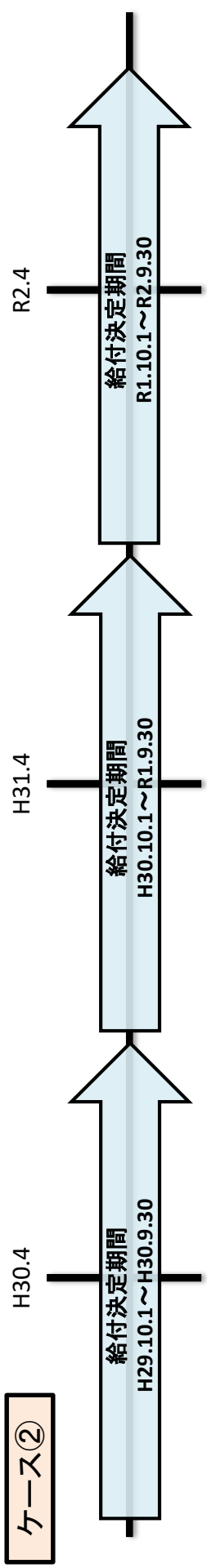
平成30年4月から令和2年4月にかけて、継続的に給付決定がされていた児童とは、例えば以下のようなケースになります。

- ・ 給付決定期間に切れ目なく給付決定がされている児童で、
- ・ H30.4、H31.4、R2.4の3つの時点が給付決定の有効期間になっている児童

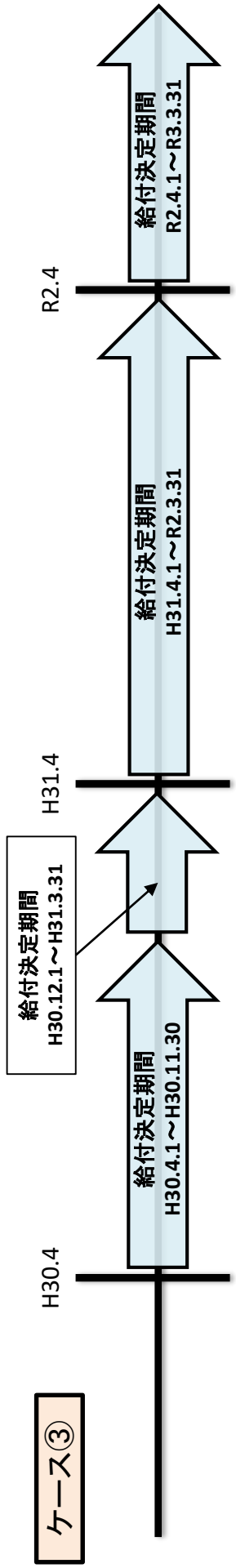
ケース①



ケース②

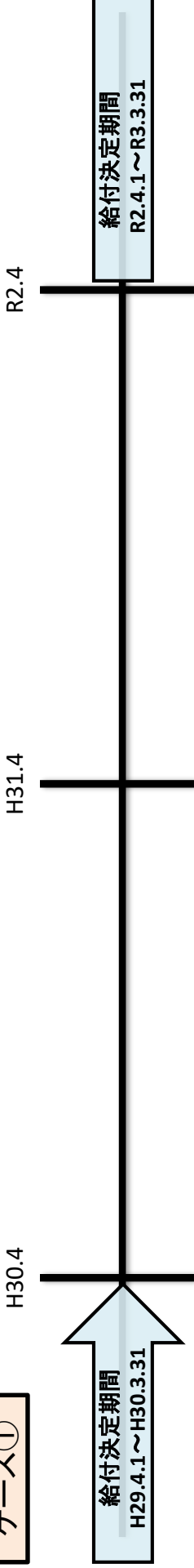


ケース③

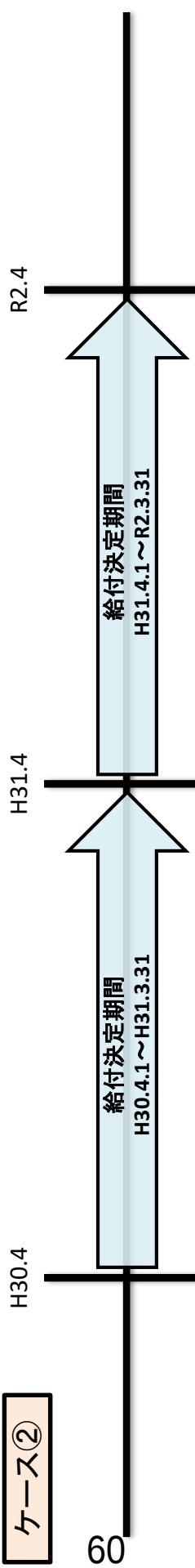


以下のようなケースは対象としないでください。

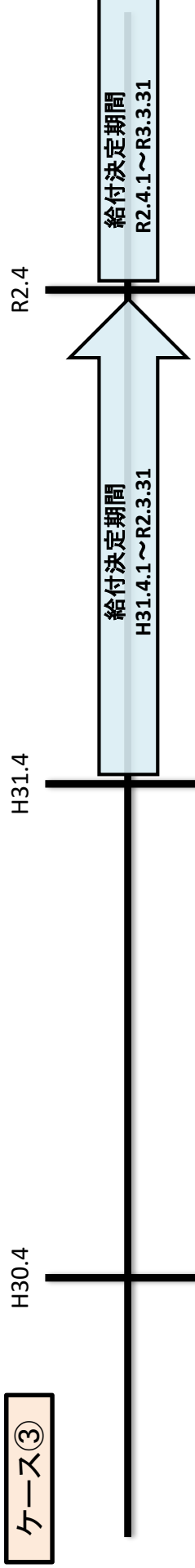
ケース①



ケース②



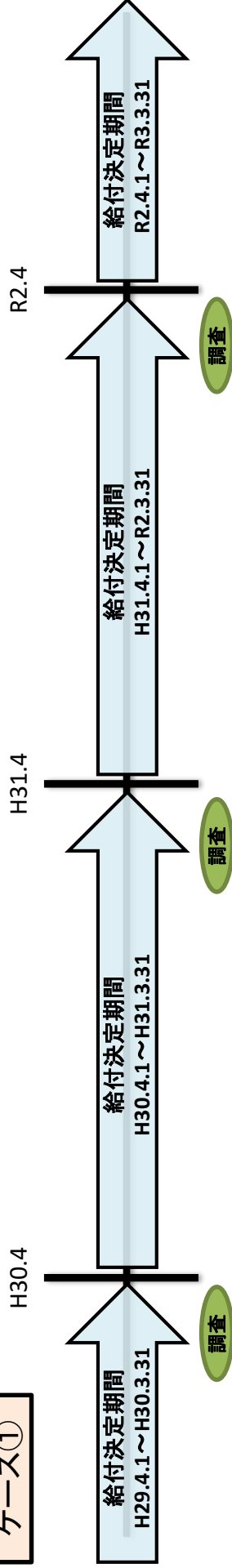
ケース③



回答いただく5領域11項目の調査結果はH30.4.1、H31.4.1、R2.4.1の各時点における直近の調査結果になります。

調査 : 5領域11項目の調査

ケース①



調査

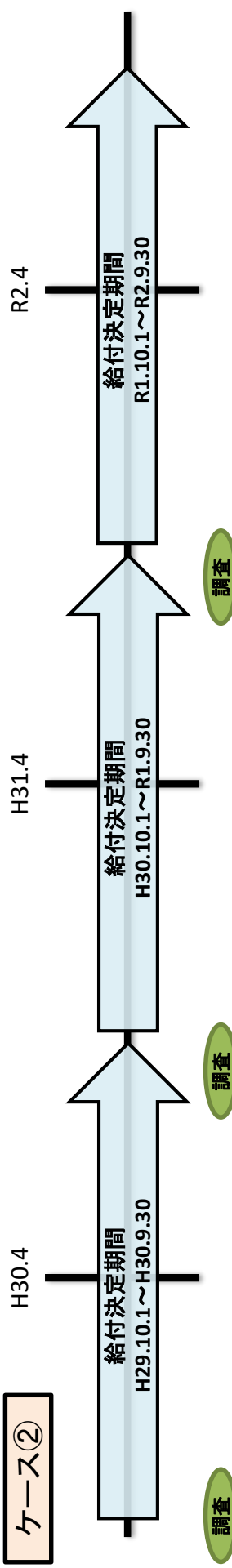
調査

調査

61

H30.4.1が有効期間の開始日となる給付決定に伴う調査結果を、H30.4.1時点の調査結果として回答する。

ケース②

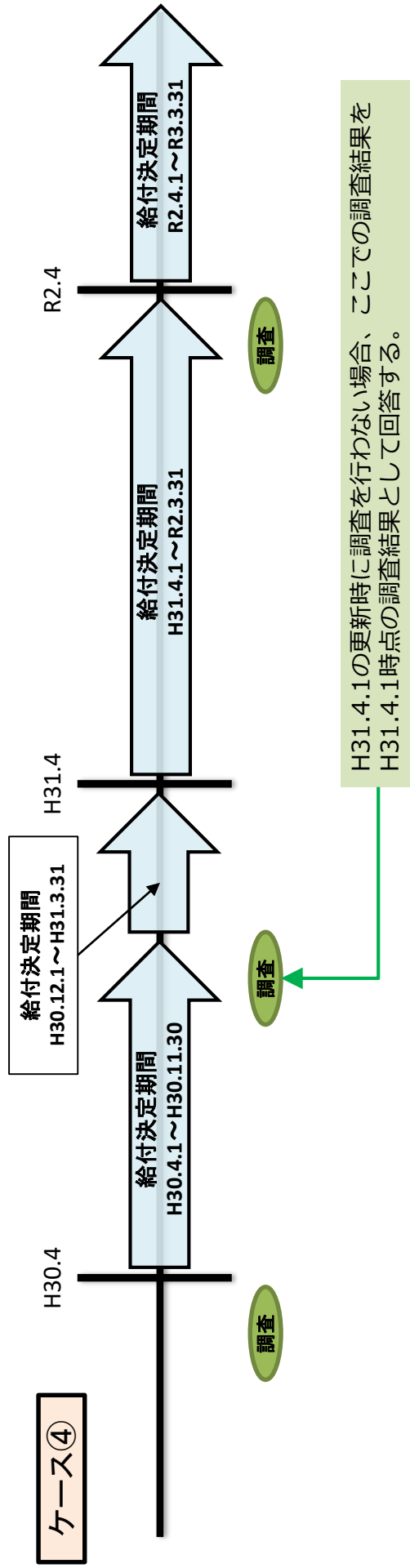
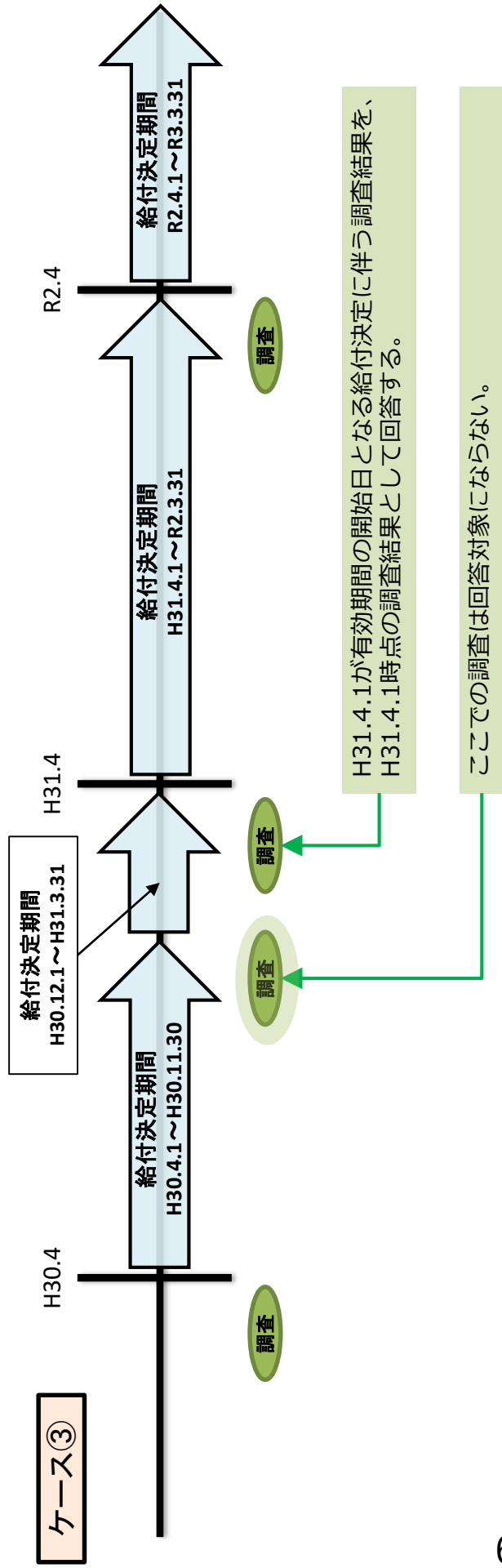


調査

調査

調査

H30.4.1を有効期間に含む給付決定に伴う調査結果を、H30.4.1時点の調査結果として回答する。



給付決定の実態に係る調査の集計結果（重点９）

＜問２の集計結果＞

- 調査対象市：34市
- 回答市：34市（うち、問２対象市：23市）
- 調査対象人数：230人
- 調査対象時点：平成30年、平成31年、令和２年のそれぞれ４月１日

	自治体名	状態変化があった児童数		調査対象児童数（母数）	
		未就学児（人）	就学児（人）	未就学児（人）	就学児（人）
政令市	A市	5	5	5	5
	B市	3	4	5	5
	C市	3	5	5	5
	D市	4	4	5	5
	E市	4	4	5	5
	F市	5	4	5	5
	G市	5	4	5	5
	H市	5	5	5	5
	I市	4	5	5	5
	J市	2	5	5	5
	K市	5	2	5	5
	L市	4	4	5	5
	M市	5	5	5	5
	N市	5	5	5	5
一般市	O市	4	2	5	5
	P市	5	4	5	5
	Q市	4	5	5	5
	R市	5	5	5	5
	S市	3	1	5	5
	T市	5	5	5	5
	U市	5	5	5	5
	V市	5	5	5	5
	W市	5	4	5	5
合計	23自治体	100人	97人	115人	115人
状態変化があった児童の割合（％）		87%	84%		